

高梁市国民健康保険成羽病院の改築に係る基本設計及び今後の運営その他検討が必要と認められる事項について意見を求められ、当委員会では4回の会議を開催し慎重に協議を重ね、下記の通り成羽病院改築に際し配慮される事項を取り纏め意見書を提出致します。

## 総 論

成羽病院は建設後36年が経過し老朽化が著しく診療施設として相応しくなく成羽町において改築についての検討が行われて来ました。

成羽町民による諮問委員会を設置し下記の2件を諮問され答申を受け決定されています。

改築位置については平成14年6月19日付けで現在位置での改築が答申され同年7月3日答申通り決定

改築基本構想については平成16年2月26日付けで基本構想6項目が答申され同年3月8日答申通り決定

平成16年5月20日日建設計に改築工事基本設計等業務を委託し同年9月13日改築工事基本構想報告書が納品され同月13日検収し完了

合併協定（要約）では公立医療機関は現行通り引継ぎ施設を整備すると共に健全運営に努めるとあります。

成羽町より新高梁市への事務引継で成羽病院は改築に向けて基本計画を策定しており、新市のまちづくり計画に基づき改築を進めていただきたいと引継ぎが行われています。

以上の経緯から当委員会が審議できる範囲は病院の基本設計を実施設計に移行することと、健全運営を確保する為に必要と考えられる事項に限定されます。提言する意見は全会一致した意見であり病院改築及び今後の運営に反映されるよう求めます。

## 意見

成羽町時代の諮問委員会の答申を反映した建築基本設計であると共に設計中に当局と協議が行われ成羽町で検収済みであり意見を挟む余地はない、ただ実施設計に際して住民ニーズを反映した病院機能を重視した施設とし建築規模は可能な限り縮小に努め、建築物は華美と特殊性を極力避け投資額の縮小に努められたい。なお改築中には患者への配慮及び安全確保に努められたい。

我が国の人口は急速に減少することが予測されている、本病院診療圏域は少子高齢化、過疎化が進行し国の平均以上に人口減少が予想される厳

しい社会環境のなか、建設基本構想の事業計画（財務シュミレーション）では合併による市民意識の変化及び病院改築により施設設備の整備充実と患者ニーズを満たす診療看護等質的向上を図り患者の回帰を含め患者確保を前提としたものとなっています。病院関係者は地域住民の信頼を得る努力を惜しまず診療収入の確保を図る事が重要であります。

厳しい社会及び医療環境のなか事業計画が示す診療収入を確保する事は容易ではなく、目標額を達成するために、当局の努力に加え市民の協力を得る仕組み作りなどを検討されたい。

病院診療の基本理念を制定し、全職員が基本理念を共有し意識改革を図ると共に徹底した職員研修を実行され、職員が使命感を持ち医療の質的向上と看護サービス等の向上を図り、患者が安心して診療が受けられる病院を目指されたい。

病院経営の基本方針を制定し、全職員が基本方針を共有し実務的経営責任者の指揮のもと、私企業並の合理的効率的運営に徹する事の出来るように職員の意識改革を図り実行できる職業集団化が求められる。

厳しい医療環境のなか診療圏域住民が求める診療ニーズに対し公設公営での運営は健全経営が可能な期間とし、不安が予測される時は公設民営等大胆な経営体制の見なおしを視野に常に検討を怠られないこと。